

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 秀溪会 いきいきっ子クラブ国東(放課後等デイサービス事業)			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		～	2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日		～	2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ST・OT・保育士の専門職がそろっており、質が高く、より、その子どもに合った、支援を提供できている。	・それぞれの専門家がそれぞれの視点で、評価し、それを持ち寄り、会議を行っている。	・それぞれのスタッフの質の向上のために、研修の機会を増やし、いきいきっ子クラブ国東全体の質の向上を目指していきたい。
2	・職員同士が、意見を出し合い、子ども達により沿った支援ができています。	・職員が意見しやすい雰囲気づくり、環境づくりを心掛けている。	・職員全体の会議の場と、それぞれの職員の意見を聞ける場を設け、職員の一人ひとりの意見を反映しやすい雰囲気づくり、環境づくりをしていきたい。
3	・地方にある為、買い物学習や外遊びがしやすい環境にあり、時間を取って、広場や公園等に行き運動遊びを取り入れやすい。	・早下校や長期休暇の日は、外での活動を取り入れ、楽しく活動できるように心掛けている。	・これからも、部屋で取り組める活動、外での活動等、地域で生活していくために必要な活動を取り入れていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・トイレの段差が大きすぎる。 ・車椅子の利用者が入るには、幅が狭い。	・放デイ事業のための建物の造りではないために、車椅子の利用者の方や、足元が不安定な方にとっては、使いづらくなっている。	・トイレに行く際は、見守りや手を添える介助等継続して行っていく必要がある。
2	・非常時の訓練、マニュアル、安全計画について、保護者への周知を徹底していく。	・保護者への周知を徹底していく。	・おたよりやホームページ等を利用し、非常時等のマニュアルや安全計画を保護者へ周知徹底していく。
3	・送迎に時間がかかり、必要な支援をするための時間が限られてくる。	・地域に放デイ自体が少なく、受け入れ地域の範囲も広いため、送迎に時間がかかってしまう。	・可能であれば、送迎職員の確保、学校や、住んでいる地域で利用日の調整を行っていく。